

北まるnetがもたらす安心して暮らせる北見



脳卒中回復期リハビリテーションの立場から

医療法人社団 高翔会
北星脳神経・心血管内科病院
診療部 リハビリテーション科
山崎 和大

脳卒中回復期リハビリテーションの役割

脳卒中発症

治療の場
(医療)



生活の場
(介護)

自宅 介護施設



回復期リハビリテーションの現状



集中したリハビリテーション



理学療法

作業療法

言語聴覚療法

回復期リハビリテーションの課題



地域で回復期リハビリテーションを実施する病院の共通の課題は、入院期間の延長

1. 患者さんが安心して家に帰る事ができない。
2. 長期療養を目的とした施設は、申し込んでも、待機期間が長くていつになったら入所できるかわからない。

地域で回復期リハビリテーションを必要としている患者さんが入院できない。



安心して家に帰るためには

なぜ、患者さんは安心して家に帰る事ができないのか？

患者さん・ご家族は、不安が一杯。

患者さん・ご家族が安心できる

退院支援・調整が必要。

解決のカギは、

医療と介護の密な連携、情報共有

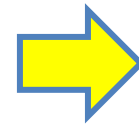
急性期、回復期、在宅への情報共有



急性期



回復期



在宅

北まるnetを活用すると

効率の良い情報共有

タイムリーな情報共有

漏れがない情報共有

北まるnetの活用で期待できる効果 回復期リハビリテーションの立場から



明確な目標設定

集中したリハビリテーション

早期からの情報共有

退院支援・調整

リハビリに時間を要すると予測される患者さん
も、安心して家に帰る事ができるのではないで
しょうか。